

テキストファイル共通フォーマット説明書

1. 適用範囲

本フォーマットは、本プロジェクトにおけるテキストファイルの共通の書式を定めるものである。ただし、読み込みを想定しないファイルは、この限りではない。

2. フォーマット定義

1. ファイルは、レコードからなる。レコードは、オペレーションシステムの改行文字 (<CR>< LF> または <LF>) で区切られる。
2. レコードの長さは、改行文字を除き、256 文字以内とする (コメントを含む)
3. レコードは、フィールドからなる。フィールドは、1 つ以上の連続する空白類 (空白、タブ) で区切られる。
4. マイナス (-) 1 文字のフィールドは、そのフィールドが空白である (フィールドの値が特定されない) ものとする。
5. シャープ (#) から始まるフィールド及びそれ以降のフィールドは、コメントとして無視する。
6. コメントを除くフィールドが存在しない場合、空白行とみなして無視する。
7. フィールドは、整数、浮動小数点数、または空白類を含まない文字列のいずれかの形式とする。
8. 1 行中のフィールドの数は、32 個以内とする (コメントを除く)
9. フィールドの位置をフィールド番号と呼ぶ。

3. 運用基準

1. 同一ファイル中に、複数の種類のレコードが存在してもよい。
2. レコードの形式は、出現順序またはレコード内の特定の位置のフィールド (通常は、第 1 フィールド) で識別できるようにする。
3. フィールドの数、形式、意味は、レコードの種類ごとに定義する。
4. 同一の種類レコードの各フィールドの形式と意味は、フィールド番号のみにより決まるものとする。ただし、行末の (あるいはマイナス 1 文字で指定された) 空のフィールド (オプションフィールド) は認める。

4. フィールドの形式

フォーマット説明書の形式欄では、以下の記号を使用する。

記号	意味
I	整数
F	実数
A	文字列
An	n 文字の文字列 指定の文字数を超える部分は、無視されるだけで、エラーとはならない。
L	論理型 "Y", "y", "T", "t" で始まる文字列 : 真 "N", "n", "F", "f" で始まる文字列 : 疑
(opt)	オプションフィールド

5. 座標系の命名規則

以下の規則に従う

「BL」 緯度経度座標

「XY ii 」 平面直角座標第 ii 系 (ii が 1 桁の場合は、左に 0 を埋める)

「UTM*ii*」 UTM 第 *ii* 帯 (*ii* が 1 桁の場合は、左に 0 を埋める)

6 . 緯度経度の記載形式

緯度経度は、度分秒を続けて記載する方式とする。すなわち 2 桁 (緯度の場合) または 3 桁 (経度) の度、2 桁の分、2 桁の秒の整数部、小数点、任意桁の秒の小数部を区切り記号なしに続ける。また、南緯、西経の場合は、先頭にマイナス符号をつける。

緯度の例	123456.7777	北緯 12 度 34 分 56.7777 秒
	-123456.7777	南緯 12 度 34 分 56.7777 秒
経度の例	1234567.8888	東経 123 度 45 分 67.8888 秒
	-1234567.8888	西経 123 度 45 分 67.8888 秒